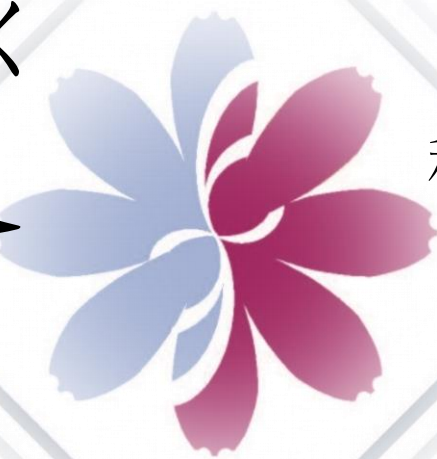


しゅうらく 秋落

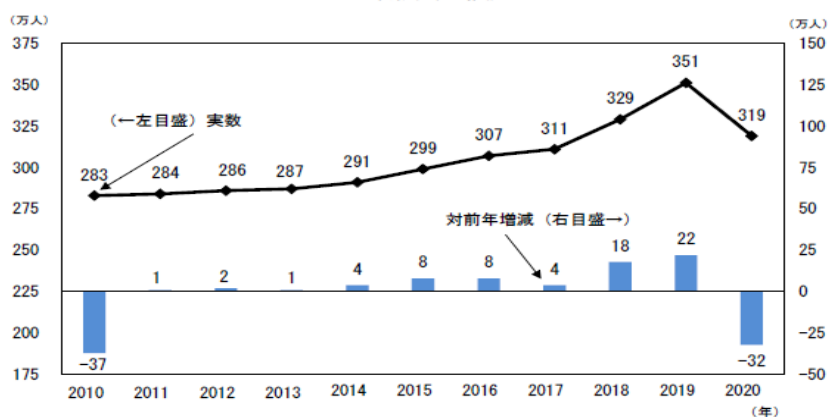


～進路だより～

秋桜関係者による
未来創造集落

<NO・6 新しい選択肢>

図8 転職者数の推移



皆さんは近い将来、生活をするために仕事を始めるはずですが、日本の会社の多くは「終身雇用制度」と「年功序列制度」で人に仕事を与えています。「終身雇用制度」は、定年まで仕事を与えるから日ごろから努力して会社のために働いてくださいという制度、「年功序列制度」は、働く期間が長ければ長いほど給料を上げるから辞めないでくださいという制度

です。これらの制度によって生活が保障されるので同じ会社で働くようになります。しかし、上の図を見てください。2020年は新型コロナウイルスの影響で下がっていますが、最近では仕事を辞めて違う会社で働く人（転職をする人）が増えています。理由はわかりますか？2つの理由があります。

(1) 生活様式の変化が激しい時代へ

技術が日々進歩することで、同じような機能や質の物を簡単に作れるようになった。企業は客の興味関心を得るための見たことがない商品を開発しなければ、倒産の危機を迎えてしまう。売れ続ける商品（うまい棒やガリガリ君など）がある企業は問題ないが、それ以外の企業は生活の保障が安定していない時代である。今ある会社は明日あるかわかりません。そんな時代を生き抜くためには、今いる会社でしか使えない能力ではなく、どこでも使える能力が必要です。例えば、人に何かを依頼するときを使う相手の心を動かす話し方や表情、動作など。そこで、企業に頼って生活をするのではなく、ある程度の能力や成果が出せたら自分から新しい環境で生活するようにする転職の考えが広まってきたのです。

(2) 終身雇用制度の衰退

皆さんが企業の社長なら長く仕事をしているベテランと、仕事をはじめたばかりの若い人のどちらに高い給料を支払いますか？信用と能力が保障されているベテランに多くの人が高い給料を支払うと思います。日本は超高齢化社会です。この状況では、高い給料を支払ないといけないベテラン社員の数が多いので、若い世代は安い給料で仕事をするようになります。会社のために動き回る若い世代が不満を持ち不足すると、業績が上がりにくくなります。ベテラン社員を雇うことは会社にとって大きな負担になります。

(3) 若者の転職に対する意識が変化

「なんで私の方が働いているのに勤務年数が多い理由で何もしていない先輩の方に高い給料を支払うんだ！」「働き続けているのに給料が上がらない！」このような不満を持っている若い世代は終身雇用制度の

必要性が感じられません。また、親のリストラを見ているので、会社を信頼できません。そのため、1つの会社に留まるのではなく、ある程度の能力を身につけたら、それを活用できる場所に移動する考えが当たり前になっています。

しかし、簡単に転職できるだろうか？現代社会はテクノロジーの発達によって同じような知識や能力を持つ人が多いです。簡単にいうと「代わりになる人はたくさんいる」。代わりがいるなら、転職は難しいはずですが、データをみると転職している人が増えている。不思議ですね。転職をしている人はどんな手段を使っているかわかりますか？現代社会がどういう世界なのかを知っていれば見えてきます。今の世界で価値があるものは、課題を解決することに役立つ物を作るのではなく、物と物を組み合わせて新しい物を作ることです。

会社で考えると、自分の会社では解決できない問題を解決できる知識や技術を持っている会社や人と繋がりを持ちたい。そのためには、力を貸してもらいたい会社や人から「この人のためなら手助けをしたい」という信頼を持っている人を探して紹介してもらう必要があります。つまり、友人や知人に会社を紹介してもらえる「人脈」を使った転職を考える人が増えてきました。

人脈を使った転職のメリットは

①面接がしやすい

転職したい会社に友人や知人がいることで、自分が持っている知識や技術を事前に伝えたいので、面接を行うことができるので会社にとって採用するかどうかを決めやすい。

②転職したい会社よりも適した会社を紹介される

自分の能力を知っている知人や友人に転職の話をしておくことで、転職を希望している会社よりも条件がよい会社を紹介される可能性がある。

デメリットは

①断りづらい

人間関係を維持するためにも、推薦や紹介を受けると、自分の希望と違う会社だと気づいても断りにくい。

②理想と現実が違う

転職したい会社に転職できたが、給料や待遇などは会社が決めるので希望通りでない場合がある。

助け合いに価値がある現代社会では、信頼できる人物を早く採用できる人脈を使った転職は今後も広がっていくことが予想される。しかし、デメリットもあることは事実です。転職できる話があっても、生活基準や人生計画を考えながら転職を選択すべきである。転職する道具の一つです。紹介サービスや求人サービスとうまく組み合わせて自分に適した仕事を探しましょう。

記事の感想や質問などがありましたら QR コードからコメントを書き込んでください。

(文責：中邨)

